

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	市営唐国住宅	階数	地上10F
建設地	大阪府和泉市唐国町二丁目348-1	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	244 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月 予定	評価の実施日	2016年7月29日
敷地面積	6,665 m ²	作成者	㈱綜企画設計
建築面積	871 m ²	確認日	2016年7月29日
延床面積	6,749 m ²	確認者	和泉市



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項	
<p>総合 入居予定の既存市営唐国住宅の住民は、5割程度が65歳以上の単身高齢者世帯となっていることから、バリアフリーに十分配慮した計画とし、高齢者や障害者が安心して住むことができる計画とする。また、「多世代交流・子育て支援に取り組む」という長寿命化計画の実現化策に基づき、若年ファミリー世帯のライフスタイルに対応した住宅仕様や多様な住宅ストックの形成を図り、団地内において適切なコミュニティバランスの形成を計画する。</p>	<p>その他 周辺地域の拠点となる団地形成を目指しており、災害においても、周辺地域の避難場所としての役割が期待されることから、防災に配慮した安心・安全な団地形成に努めた計画としている。</p>
<p>Q1 室内環境 使用する特定建材は全てF☆☆☆☆とし、各住戸が高い遮音性能と断熱性能を有する計画としている。また、各居室は平均的に高い昼光率を確保している。</p>	<p>Q2 サービス性能 設計住宅性能評価の劣化軽減に関する項目に関して、等級3を取得するなど十分な躯体耐用年数を確保した計画としている。また、期待耐用年数の高い空調・給排水管を使用している。</p>
<p>LR1 エネルギー 設計住宅性能評価の断熱性能に関する項目に関して、等級4を取得するなど十分な断熱性能を確保した計画としている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 雨水利用システムを導入しており、資源を有効活用する計画としている。また、住宅棟の内装材は容易に取り外し可能にしており、将来の更新を容易に行えるようにしている。</p>
	<p>LR3 敷地外環境 住宅棟は北側敷地境界から離れた位置に配置し、騒音等の問題が敷地周囲に対して起こりにくいように配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0070

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	市営唐国住宅					
		建設地	大阪府和泉市唐国町二丁目348-1の一部					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					3		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							対象外	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体		4	
					住戸・宿泊	5.0		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.2		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.4		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	—	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
		太陽光発電			太陽光発電による自然エネルギー利用を行っている			
特に配慮した事項		特になし						